

1976～1977

塘ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1976・11・24

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなのために なるか どうか

ロータリー綱領

ロータリーの綱領は有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成するにある。

1. 奉仕の機会として知り合いを拓めること；
2. 実業及び、専門職業の道徳的水準を高めること；
あらゆる有用な職業は、尊重されるべきであると云う認識を深めること；
そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること；
3. ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び、社会生活に常に、奉仕の理想を適用すること；
4. 奉仕の理想に結ばれた実業人と、専門職業人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を推進すること。

1976～1977年度のターゲット

SERVICE

I believe in Rotary

奉 仕

ロータリーを私は信奉する

ロ　ー　タ　リ　ー

ロータリーは、1905年に、友好と職業における協力という理想を抱いた少数の人たちで発足しました。

ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、一つの地域内のさまざまな実業人および専門職業人の中から指導的な人物を選んでロータリー・クラブの会員にする、という方法を始めたのであります。この職業分類方式は、個々の各クラブにも、また国際ロータリーにも、広汎な視野を与えるという意味で、ロータリーという組織にとってきわめて大きな力となったのであります。

1911年に、当時既に結成されていた16のクラブが米国オレゴン州ポートランドで開いた第2回の大会で、シカゴのロータリアン、アーサー・シェルドン氏は次のように述べました：「職業を学ぶということは、奉仕を学ぶことである。『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。』」こうして、「職業における協力」という当初の考え方は拡大されて、他人への奉仕というより大きな考え方に発展したのであります。

このあと、さらに二つの発展段階がありました。一つは、「超我の奉仕」という標語がつけ加えられたこと、いま一つは奉仕という一語をもって、四つの主要活動部門を持つロータリーの唯一の目的としたこととあります。

その後におけるロータリーの運営面には大きな発展がみられましたが、以上に述べたことは、依然として、いまなおわれわれの組織の根幹となっているの

であります。

会長として皆さんに申しあげる……………

私は次の信念を持っている……………

- (1) 各ロータリアンは、みんな、国際ロータリーのプログラムについて十分な知識をもち、身をもってこれを遂行しなければならない；
- (2) 国際ロータリーは、全会員一人一人に対して、(イ)奉仕の4部門による奉仕と、(ロ)すべてのロータリアンとの友好関係とを求めている；
- (3) 各ロータリアンは、それぞれ、自分の職務や職業において、最高の道徳的、倫理的な模範を、つねに身をもって示さなければならない；そして、
- (4) ロータリーは、人間のすべてが健全な、尊敬な、自由な精神を確保できるように、この世界の人々が一つの目的に結ばれることを至上命令としている。そして、私はこの信念に一身を捧げております。皆さんもそうしていただけませんか？

ロバート A.マンチェスター II

国際ロータリー会長

第 3 7 3 地区ガバナーアドレス

次年度の R・I 第 3 7 3 地区ガバナーとして私は特に次の二つの点に力を注ぎたいと考えています。

- (1) 次期 R・I 会長の意を体しまして、わが地区でもロータリーの奉仕というものの理解と実践に力点を置きたいのです。しかし、ロータリーの奉仕を理解するためには、その出発点として、ロータリー情報の徹底が絶対的に必要ですので結局次年度はロータリー情報の徹底に力点を置いた上で、職業奉仕の実跡普及につとめたいと思います。それには、特に各クラブのロータリー情報委員会や職業奉仕委員会の活発な活動に期待する所が大であります。
- (2) それから私はもう一つ特に青少年奉仕に力を致したいと思います。従来ロータリーは、奉仕の理想を成年しかもある程度成功した社会人に滲透させるように努力してきました。しかし、これでは実際には遅すぎるのです。これからのびる私共の後継者に奉仕の理想を吹き込み、若い時から奉仕の筋金を入れて行けば、よりよい社会をつくるのに一層役立つでしょう。その方法としては手近な所では例えば、卒業前の中学生や高校生を対象として職業指導を行なうことも考えられます。学校の先生方は夫々の職業については私共がもっている程の現実的な職業的知識を持ち合わせていないのが、常だからです。この職業指導は、職業奉仕委員会の仕事です。勿論その他に、青少年奉仕全般にわたる奉仕活動もあります。

各クラブにおきましては、ロータリーの奉仕の理想に則った青少年の育成教化につきましては、特に例年以上に力を注いでいただきたいのです。

目 次

クラブ協議会プログラム	1
役員並びに委員会名簿	2
会長報告	3
幹事報告	4
クラブ概況	5
クラブ奉仕委員会	6
会計報告	6
出席委員会	7
職業分類委員会	8
会員選考委員会	8
会員増強委員会	8
プログラム委員会	8
広報委員会	9
親睦委員会	10
ロータリー情報委員会	11
会報雑誌委員会	11
S. A. A	12
職業奉仕委員会	12
社会奉仕委員会	12
青少年奉仕委員会	13
国際奉仕委員会	14
ロータリー財団委員会	14
附 表	
昭和51年度予算書	15
会 員 名 簿 (別冊)	
充填, 未充填職業分類一覧表 (別冊)	
委員会活動方針 (別冊)	

老舍著 曹湜译

《骆驼祥子》

第一卷 第一章

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

クラブ協議会プログラム

1976. 11. 24

於 鶴鳴館

17:30~17:31	開 会 の 辞	副 会 長	河 井 時 義
17:31~17:34	ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱		
17:34~17:45	歡 迎 の 辞 並 介 ガバナー, 分 区 代 理 紹 介	会 長	岡 元 健 一 郎
17:45~17:50	ガ バ ナ ー 換 拶	ガ バ ナ ー	塘 一 郎
17:50~	会 員 自 己 紹 介		
	会 長 報 告	会 長	岡 元 健 一 郎
	幹 事 報 告	幹 事	中 村 善 治
	会 計 報 告	会 計	有 村 良 男
	ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告	副 会 長	河 井 時 義
	出 席 委 員 会	委 員 長	川 田 恵 一 二
	職 業 分 類 委 員 会	"	岩 元 正 寿 彦
	会 員 選 考 委 員 会	"	外 西 平 礼 章
	会 員 増 強 委 員 会	"	田 平 元 基
	プ ロ グ ラ ム 委 員 会	"	岩 元 幸 光
	広 報 委 員 会	"	林 幸 利 則
	親 睦 委 員 会	"	海 老 原 鉄 太 郎
	ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	"	小 池 鉄 太 郎
	会 報 雜 誌 委 員 会	"	川 上 鉄 太 郎
	S . A . A	S . A . A	内 山 光 男
	職 業 奉 仕 委 員 会	委 員 長	宇 治 野 純 章
	社 会 奉 仕 委 員 会	"	水 湖 清 治
	青 少 年 奉 仕 委 員 会	"	瀬 戸 山 勝 資
	国 際 奉 仕 委 員 会	"	岩 男 岡 秀 彦
	ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	"	岩 平 岡 禎 吉
	講 区 幹 事 よ	ガ バ ナ 一 事	塘 中 村 善 治
19:20	閉 会 の 食 事		
	懇 談 食 事		
	ロータリーソング(手に手つないで)斉唱		

鹿児島西ロータリークラブ役員、理事委員会名簿

(1976. 7 ~ 1977. 6)

会 長(理事)	岡 元 健一郎	副 会 長(理事)	河 井 時 義 (クラブ奉仕)
幹 事	中 村 善 治	副 幹 事	小 園 正 人
理 事	宇治野 純 章(職業奉仕)	水 洩 清 治(社会奉仕)	
	瀬戸山 勝 資(青少年奉仕)	岩 男 秀 彦(国際奉仕)	
	有 村 良 男(会 計)		
S・A・A	内 山 光 男	副S・A・A	川 畑 正 美
出席委員会	◎川田 恵一	◎池田 広	田原迫卓視 二階堂正明 徳留 栄次
職業分類委員会	◎岩元 正二	◎岡山 栄	若松宇治彦 中村 俊雄
会員選考委員会	◎外西 寿彦	◎桜美 義明	福田 敏之 山本 友博 藤安 辰造
会員増強委員会	◎田平 礼章	◎徳沢 紀生	鮫島志芽太 徳田 基 新原 剛
プログラム委員会	◎岩元 基	◎原 三郎	牧田 健二 川村 洋 佐伯 延次郎
広報委員会	◎林 幸光	◎小山 幸義	新福 栄熊 光吉 正昭
親睦活動委員会	◎海老原利則 高橋 司	◎徳家 孝 吉田 憲一	高妻 俊則 土橋 滋 橋口 十蔵 尾辻 省悟 篤 辰雄 後藤 泰久
ロータリー 情報委員会	◎小池鉄太郎	◎下野 隆三	福田 正臣
会報雑誌委員会	◎川上鉄太郎 池田 穰	◎高井 敏治	岩元 健吉 岩田 太一 岩元 紀彦
職業奉仕委員会	◎宇治野純章	◎山下 静雄	古木 圭介 鍋島 宏 前田 好文
社会奉仕委員会	◎水洩 清治 永井 利承	◎城 哲男	桜美 四郎 久保田彦穂 久保 政次
青少年奉仕委員会	◎瀬戸山勝資 近藤 典文 肥後 克郎	◎安楽慶一郎 浜田 馨 吉留 益	中尾 正昭 和田 吉人 鹿海 武 三角桂次郎 佐伯 寿郎 柴山 一雄 鮎川 六男 柿市 高重
国際奉仕委員会	◎岩男 秀彦 木治屋克己	◎ジョーンズ・ミッチェル	渡辺 匡 池口 恵観
ロータリー 財団委員会	◎平岡 禎吉	◎塘 一郎	松田 徳平
ロータリー賞 推薦委員会	◎河井 時義 川上鉄太郎	◎水洩 清治	林 幸光 宇治野純章 岩元 基

◎=委員長

○=副委員長

会 長 報 告

会 長 岡 元 健 一 郎

1976-77年度の鹿児島西クラブの会長に選出されましたが、その重責にとまどって過してきました。会員の皆様の御支援と御協力により当クラブのよき伝統を活かして一生懸命つとめたいと思いますので宜しくお願い致します。

マンチェスターRI会長の「奉仕-ロータリーを私は信奉する」塘地区ガバナーの「奉仕の理解と実践のためのロータリー情報の徹底普及。青少年奉仕の推進」という指導方針が勿論本年度の方向であります。クラブはRIの基本的構成単位であり、RI会長、GDの指導方針を推進するためにも、クラブの存在をますます確実にする必要があります。その方法はロータリーの基本理念を理解し実践することで、まず「出席、親睦、ロータリー情報、会員増強」の4点が基本であろうかと思えます。すべての奉仕活動の源はこゝから出発するものと思えます。つまり本年度も当クラブは従来のよき伝統を引ついだロータリーの基本に樹った発展に向って皆様とともに進みたいという気持ちを持っております。会員の増強はまだ目標に遠い状況ですので、今後一層努力したいと思っております。

幹 事 報 告

幹 事 中 村 善 治

今年は今クラブからガバナーが出られましたので、そのホームクラブとして恥かしくない運営をしたいと考えて進めて居ります。

又、来年度は地区大会をホストクラブとして引き受けることになりましたのでこれも立派に成功させたいと思い、人材、資金、運営等あらゆる準備に遺漏のない様配慮致して居ります。この為各種の奉仕活動に「進んで参加する」を呼びかけ、ロータリーに対する理解と知識を深める様努めて居ります。

又、ガバナーの力点とされますロータリー情報活動、職業奉仕活動、青少年奉仕活動の3大部門に対しては予算的裏付けも行い、その目的を達する様努めて居ります。

来年創立15年を迎えることでもありますので名実共に成長したクラブとして全会員よく融和協調して行き度と思います。

＜ ク ラ ブ 概 況 ＞

1.	創 立 年 月 日	昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日
2.	承 認 年 月 日	昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日
3.	チャーターメンバー	2 5 名 (内 現 会 員 1 0 名)
4.	本 年 度 当 初 会 員	退 会 者 1 名 入 会 者 3 名
5.	現 在 会 員 数	正 会 員 6 7 名 シニア・アクティブ会員 2 0 名 計 8 7 名
6.	平 均 年 令	5 5.7 才 最 高 8 1 才 最 低 2 9 才 2 0 才 台 1 3 0 才 台 4 4 0 才 台 2 3 5 0 才 台 2 5 6 0 才 台 2 3 7 0 才 台 1 0 8 0 才 台 1
7.	出 席 率	9 7.6 3 % (5 0.7 ~ 5 1.6)
8.	予 算	末 尾 の 通 り
9.	入 会 金	2 5,0 0 0 円
1 0.	年 会 費	1 0 8,0 0 0 円
1 1.	ビジター会費	(1,0 0 0 円)
1 2.	会 報	週 報 を 毎 週 発 行
1 3.	ロータリアン誌	2 名 購 読
1 4.	ク ラ ブ 協 議 会	2 回 (あ と 4 回 の 予 定)
1 5.	ク ラ ブ フォーラム	2 回 (あ と 2 回 の 予 定)
1 6.	炉 辺 会 合	2 回 (あ と 2 回 の 予 定)
1 7.	理 事 会	定 例 理 事 会 毎 月 第 2 週 例 会 日 に 開 催

臨時理事会 必要に応じ随時開催

18. 委員長会議 2回

19. 会長，幹事会 県下RC分 2回の予定

市内RC分 2回の予定

クラブ奉仕委員会

副会長 河井時義

業 績

7,8月に委員長会議を行ない連絡協議を行なった。

会 計 報 告

会 計 有 村 良 男

業 績

資産台帳は良く整備されており，財務事情については健全である。

出席委員会

委員長 川田 恵一

業 績

常に出席率を把握し欠席者への連絡を取る様に注意している。

例会出席状況

月 日	会員数	出席数	欠席数	出席率	メイクアップ	訂正率
7. 1	85	63	22	74.12	19	96.47
8	86	70	16	81.40	13	96.51
15	86	61	25	70.93	22	96.51
22	86	63	23	73.26	21	97.67
29	86	59	27	68.60	25	97.67
8. 5	86	55	31	63.95	29	97.67
12	86	53	33	61.63	30	96.51
19	85	59	26	69.41	23	96.47
26	85	47	38	55.29	36	97.65
9. 2	85	67	18	78.82	15	96.47
9	86	59	27	68.60	25	97.67
16	86	66	20	76.74	17	96.51
30	86	68	18	79.07	16	97.67
10. 7	86	61	25	70.93	21	95.35
14	87	60	27	68.97	21	92.05
21	87	61	26	70.11	17	89.66
28	87	60	27	68.97	19	90.80
平均				(70.64)		(95.84)

職業分類委員会

委員長 岩元正二

業績

1. 8月末現在で充填，未充填の分類表を作成し会員に配布する。
2. 新入会員3名の検討を行なった。

(土橋滋君・尾辻省悟君・後藤泰久君)

会員選考委員会

委員長 外西寿彦

業績

3名の会員申込みを選考し，新入会員としての入会手続きをとった。

会員増強委員会

委員長 田平礼章

業績

現在3名増 退会者1名

プログラム委員会

委員長 岩元基

業績

卓話実績は次のとおりです。

月 日	卓 話	職 業	卓 話 者
7. 1	(クラブ協議会)		
8	(総 会)		
1 5	「ヨーロッパ雑感」	(会 員)	古 木 圭 介
2 2	「五つ子誕生の余得」	(会 員)	外 西 寿 彦
2 9	(ファイヤ・サイド ミーティング)		
8. 5	「ドイツの学校制度」		イルゼ・マッテス夫人
1 2	「フランス管見」	県立短大助教授	児 嶋 正 男
1 9	「火星の生物存在 の可能性」	鹿大理学部助教授	東 四 郎
2 6	(ファイヤ・サイド ミーティング)		
9. 2	「交換学生を訪ねて」	373区青少年 交換委員長	島 名 隆 次
9	「鹿児島 観光について」	(会 員)	二階堂 正 明
1 6	クラブフォーラム	国際奉仕委員会	グエン・トラン・タン 会員 尾 辻 省 悟
3 0	「中年以降の 健康管理」	(会 員)	福 田 正 臣
1 0. 7	観 月 家 族 会		
1 4	クラブフォーラム	青少年奉仕委員会	
2 1	「東ヨーロッパ を訪ねて」	山形屋営業部 企画室	上 城 恒 夫
2 8	「ペットというもの」	(会 員)	肥 後 克 郎

広 報 委 員 会

委員長 林 幸 光

業 績

○ 7月26日

N. H. K局長室にて鹿児島市4 R・Cの広報委員長会合をし、今後の広報活動について話し合う。

○ 8月29日県下全部のR・Cの広報委員長会議が山形屋7階5号室にて開催、大津地区広報委員長司会にて各R・Cの広報状態の現状と計画その他について約2時間協議す。(出席者20名)

○ 9月20日鹿児島市内4 R・Cの広報委員長とNHKとMBC放送、南日本と新報社の幹部との会合を山形屋7階特別食堂にて、正午から午後二時頃まで打合せ会開催、今後の広報活動についての協力を依頼す。

親 睦 委 員 会

委員長 海老原 利 則

業 績

1. 親睦は出席と奉仕の間接点にあり両者の実績をより向上せしめる役であることに思いをいたし、出席者の挨拶、ニコニコ箱の披露等、この線に沿って努めている。7月から10月迄のその実績。件数で45%、金額で116%アップ。
2. 今年度より当月の誕生祝と結婚祝該当者より夫々1名、1分間卓話の所見発表を行っている。
3. 今年度よりビジターとの親睦増進のため月に1回程度県外者より1分間卓話をうけている。
4. 今年度は当クラブのRAC誕生につき家族観月会も共催として実施し、かってなき成功を収め得たと思う。

ロータリー情報委員会

委員長 小池 鉄太郎

業 績

1. ロータリー情報活動について、ファイヤーサイドミーティングを行う。

日 時 (8月26日)

場 所 鶴鳴館

2. ロータリー情報今年度の活動について3分卓話

ロータリー情報委員

3. ガバナー月信3, 4号より、昨年度の本県各クラブの出席率その他を抜粋、週報に載す。

4. ロータリー情報3分卓話 1 0.2 1 会員 小山幸義君

5. " 1 0.2 8 幹事 中村善治君

会報雑誌委員会

委員長 川上 鉄太郎

業 績

10月までの計画に対する業績の80%程度ではないかと考えられる。

特に基本方針の冒頭に「会員の興味をひきおこすような内容のものにした」と定めたが、従来となんら変わっていないので、この点を今後基本方針に
そうよう努力していきたい。

S A A 内 山 光 男

業 績

- これまでに座席の指定を入会年度別と委員会別の2種類を行なう。
- 又、好評の握手も続行するようにしている。
- ニコニコボックスについては、親睦委員会と協力して、会員のみなさんからどんな小さな情報でも提供をお願いし、増収に努力している。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 宇治野 純 章

業 績

1. ファイヤーサイドミーティングに於て、職業奉仕の具体的事例をとりあげ、ケース研究を実施した。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 水 渕 清 治

業 績

1. ローターアクトクラブの社会奉仕活動に積極的に参加する。其の意味で10月3日、早朝、西鹿兒島駅前広場を広報委員会と共に清掃奉仕活動を実践致しました。
2. ローターアクトクラブの例会に社会奉仕委員会全員が出席し、奉仕活動に付いて対話集会を10月21日(午後6.30~8.30)実践致しました。

非常に有意義だったと思います。

青少年奉仕委員会

委員長 瀬戸山 勝 資

業 績

7. 3 I A C 県下合同委員会出席 於鹿兒島実業高校
7 鹿兒島高校訪問 校長, 教頭, 指導教官と対談
8. 2 R A C 県下連絡協議会出席 於鹿屋市
1 ~ 3 鹿高 甌島キャンプ 応援
7 ~ 10 I A C 年次大会「阿蘇青年の家」参加
2 1 交換学生 山内里見君送出
" ローリ・ベス・ハリス受入
論文募集 " 高校生の奉仕について "
9. 9 米年度交換学生 鹿兒島 R C と合同実施決定
2 3 県下 P A C 研修会開催
3 5 0 地区 R A 年次大会参加派遣
- 1 0. 7 観月会に R A C と合同例会及 I A C, 校長, 指導教官, 交換学
生招待
- 10 ~ 11 3 7 3 地区 R A 年次大会参加 於別府市
- 1 2 3 5 0 地区 R A 来訪 県下 R A C 合同にて歓迎パーティー

大 一 荘

国際奉仕委員会

委員長 岩男秀彦

業 績

1. 8月21日より交換学生(ローリー・ベス・ハリス嬢)をホストファミリー木治屋会員宅で受入れる。
2. 観月会に留学生を招待し、会員との親睦、相互理解を深める。
3. 国際理解週間に因んで9月16日のフォーラムで、尾辻省悟会員の国際理解を深める卓話を行なった。

ロータリー財団委員会

委員長 平岡禎吉

業 績

1. 本年度の努力目標としてロータリー財団への寄附金の増額を計ること。
2. 現在の800%を1000%に引上げること。
3. その方法として準フェローを勧誘することとし、柴山、桜美、岩元(健)河井、池田(広)、川村、岩元(正)、藤安、徳沢、牧田、外西諸会員の承諾を得ている。
4. 出来れば11月25日までに本年度分を完了したいが、止むなくんば弁法を講じたい。

附 表

昭和 5 1 年度予算書

会 員 名 簿 (別冊)

充填、未充填職業分類一覽表(別冊)

委員会活動方針 (別冊)

昭和51年度収支予算書

1976.7～1977.6

鹿児島西ロータリークラブ

費 目	50年度予算	50年度決算	51年度予算	備 考
(収 入 の 部)				
前年度繰越額	61,954	61,954	1,108,428	
年会費	8,640,000	8,929,700	9,612,000	Ⓐ5,400×85 Ⓑ5,400×93
ロータリーの友 雑誌代	192,000	198,400	213,600	Ⓐ1,200×85 Ⓑ1,200×93
入会金	200,000	225,000	250,000	@25,000×10人
R財団寄附金(入会時)	23,200	26,820	30,000	@3,000×10人
ビクター会食費	1,000,000	948,000	1,000,000	@1,000×1,000人 (50週)
雑収入	3,000	177,969	6,000	
家族会会費	800,000	830,000	850,000	@5,000×85人×2回
ガバナー事務所特別補助			445,000	Ⓐ2,500×85 Ⓑ2,500×93
青少年活動資金			445,000	Ⓐ2,500×85 Ⓑ2,500×93
ローターアクト基金 として寄附		11,000		夫人の集いから(@1,000×11人)
ローターアクト誕生祝い			114,000	@1,000×84人 ニコニコBOXより 30,000円還元
(合 計)	10,947,154	11,408,843	14,128,028	

費 目		50年度予算	50年度決算	51年度予算	備 考
(支 出 の 部)					
事 務 局 関 係	人 件 費	1,007,500	1,007,500	1,110,000	事務員給料及び賞与
	退職給与引当金	51,000	51,000	55,000	年間給与の $\frac{5}{100}$
	通 信 費	180,000	181,213	200,000	郵便料, 電話料
	事務用品費	70,000	33,450	50,000	事務用品
	印 刷 費	250,000	163,000	230,000	諸報告書, 領収書
	厚生・福利費	60,000	60,404	70,000	
	交 通 費	30,000	18,550	30,000	
	函 書 費	15,000	10,215	15,000	
	借 室 料	120,000	120,000	120,000	@10,000×12ヶ月
(計)		1,783,500	1,645,332	1,880,000	
委	出 席	170,000	119,800	170,000	表彰記念品代
	会 員 選 考	2,000	0	2,000	
	会 員 増 強	2,000	0	2,000	
	職 業 分 類	80,000	85,000	100,000	分類表

員 会 関 係	親 睦 活 動	1,250,000	1,193,358	1,350,000	結婚, 誕生記念品 家族会, 夫人の集い
	プ ロ グ ラ ム	80,000	73,000	80,000	卓話謝礼
	ロ ー タ リ ー 情 報	150,000	159,945	200,000	ロータリー手帖, 地区ニュース, 文献代
	広 報	20,000	3,580	60,000	
	会 報 ・ 雑 誌	442,000	418,300	464,000	ロータリーの友, 週報印刷
	職 業 奉 仕	80,000	23,080	80,000	
	社 会 奉 仕	200,000	142,700	200,000	
	青 少 年 奉 仕	750,000	714,760	1,560,000	交換学生資金として35万円別途補助
	国 際 奉 仕	200,000	74,000	100,000	
	(計)	3,426,000	3,007,523	4,368,000	
R ・ I 関 係	人 頭 分 担 金	278,400	284,232	320,400	Ⓐ 1,800×85 Ⓑ 1,800×93
	R 財 団 寄 附 金	116,000	72,650	127,500	@300×85×5回
	” (入会時)	23,200	26,820	30,000	@3,000×10人
	米 山 記 念 奨 学 金	120,000	120,000	133,500	Ⓐ @750×85 Ⓑ @750×93
		(計)	537,600	503,702	611,400

費 目		50年度予算	50年度決算	51年度予算	備 考
地 区	地区大会分担金	120,000	121,500	127,500	@ 1,500×85
	地区協議会	170,000	67,500	250,000	登録料, 旅費, 宿泊料
	地区資金	144,000	144,000	186,900	⊕1,050×85 ⊖1,050×93
	地区青少年資金	80,000	80,000	124,600	⊕700×85 ⊖700×93
	ガバナー事務所費	36,000	36,000	71,200	⊕400×85 ⊖400×93
関	東京大会負担金	160,000	160,000	267,000	⊕1,500×85
	世界社会奉仕	40,000	32,400	46,500	@ 500×93
係	研究グループ交換	40,000	0	0	
	ガバナー事務所 特別補助			445,000	⊕2,500×85 ⊖2,500×93
(計)		790,000	641,400	1,518,700	
そ の	拡大事業費	50,000	20,000	50,000	
	会議費	20,000	53,255	80,000	会長, 幹事会々費等
	会食費	3,800,000	3,880,123	4,350,000	
	雑費	220,000	299,080	450,000	ピアノ謝礼, 慶弔費, パナー作製費
	備品費	50,000	0	150,000	名札立て修理外

他	地区大会準備資金	200,000	200,000	400,000	@200,000×2回
	特別基金	50,000	50,000	100,000	@50,000×2回
	(計)	4,390,000	4,502,458	5,580,000	
予備費					
		20,054		169,928	
(合計)					
		10,947,154	10,300,415	14,128,028	

< 特別基金勘定 >

費目	50年度予算	50年度決算	51年度予算	備考
(収入)				
前年度繰越	859,426	859,426	1,007,980	
基金特別負担金	40,000	45,000	50,000	@5,000×10 (入会者)
一般会計より繰入	50,000	50,000	100,000	@50,000×2
雑収入	40,000	53,554	60,000	
(計)	989,426	1,007,980	1,217,980	

＜ニコニコ寄附金勘定＞

費 目	50年度予算	50年度決算	51年度予算	備 考
(収 入)				
前 年 度 繰 越	740,307	740,307	770,548	
寄 附 金 収 入	400,000	494,700	850,000	
雑 収 入	10,000	35,541	50,000	
(計)	1,150,307	1,270,548	1,670,548	
(支 出)				
ロータリー財団寄附		200,000		
ガバナー事務所補助		300,000		
交換学生奉仕活動			350,000	
ローターアクト基金へ戻し			30,000	
(計)		500,000	380,000	

＜ 特 別 準 備 金 勘 定 ＞

費 目	5 0 年 度 予 算	5 0 年 度 決 算	5 1 年 度 予 算	備 考
(収 入)				
前 年 度 繰 越	6 7,6 2 6	6 7,6 2 6	1 2 3,2 4 0	
退 職 給 与 引 当 金	5 1,0 0 0	5 1,0 0 0	5 5,0 0 0	
雑 収 入	5,0 0 0	4,6 1 4	5,0 0 0	
(計)	1 2 3,6 2 6	1 2 3,2 4 0	1 8 3,2 4 0	
前 年 度 繰 越	1,1 1 9,0 1 7	1,1 1 9,0 1 7	1,3 8 5,6 0 7	
地 区 大 会 準 備 資 金	2 0 0,0 0 0	2 0 0,0 0 0	4 0 0,0 0 0	@ 2 0 0,0 0 0 × 2 回
雑 収 入	5 0,0 0 0	6 6,5 9 0	7 0,0 0 0	
(計)	1,3 6 9,0 1 7	1,3 8 5,6 0 7	1,8 5 5,6 0 7	